

JA だより



—自然のぬくもりと暮らしたくて—



第72回 JAしずない通常総会

第72回しずない農業協同組合通常総会開催

全8議案原案通り可決される



冒頭挨拶において、西村和夫代表理事組合長より「本総会につきましては、皆様もご存知の通り新型コロナウイルスによる感染拡大によりまして、道内においても感染者が多数発生しているということで、組合員皆様のご協力の下、また、来賓各位のご理解によりまして、本総会を開催させていただきます。

総会資料などを事前に配布し、職員からの丁寧な説明をさせて頂き、ご理解頂いた上で本総会に望みたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

日本を取り巻く農業情勢は、国際的にはTPP11の発行から1年が過ぎました。また日米貿易協定は今年1月1日に発行され、EPAやFTAと国際貿易がより一層の変化が進み、それに加え、アラブ地域の政情不安が相まって、予断の許されない状況となっております。

また、昨年10月から消費税率が10%へ増税となり、私たち農業者にとつてはどれを取っても生産活動にとって不安材料の多い年となっております。そして、年が明けて現在騒動となっている新型コロナウィルスが世

界中に感染拡大し、日本経済はもちろんのこと、世界経済にも影響を及ぼす甚大な災害状況となっております。今年の我々の農業に対しては、大きな試練となることが予想されると思います。

さて、昨年の当JAの農業生産の状況は大きな自然災害もなく、各作物とも豊穡の秋を迎えることができたと考えています。しかしながら生産量が多い中で価格がなかなか上がらない状況でもありました。

水稲につきましては、作況指数106ということで、概ね天候に恵まれ高品質な米を収穫することができ、作付面積83haで金額7,100万円の販売高となりました。また、7月1日には待望の地酒「海桜丸」がお披露目され、多くの町民の皆様にご愛顧いただいております。今年度も2年目の地酒として、直にお披露目出来ることとなっておりますので、引き続きご利用頂きたいと思えます。

青果では、昨年は好天に恵まれ、生育は良好に推移し、特にミニトマト「太陽の瞳」の収量は、一昨年を上回る結果となりましたが、販売単価が安価で推移したため、取り扱った金額もそれほど伸びず、10億円の計画の中、9億1,300万円となりました。目標には届きませんでした。

だが、昨年に引き続き9億円を突破できたことは喜ばしいことだと思えます。本年も1組の新規就農が予定されており、今年こそは10億円の突破を目指したいと思えます。その他、大玉トマト、ほうれん草などで青果全体としては10億円を超える販売高となりました。

酪農については、乳価が100円台と高い水準で推移し、販売金額も昨年同様の3億6,300万円の取扱実績でした。乳価が安定している中で、町営牧野を有効利用しながら生産活動を進めていきたいと思えます。

黒毛和牛については、引き続き市場評価が高く当JA取扱い素牛の平均価格のうち去勢で83万円、雌で72万円と一昨年とほぼ同じ価格で推移しており、年間の販売金額は906頭で6億5,900万円となり、4年連続で6億円を突破しています。

しかしながら、購買者である肥育農家が出荷する枝肉が輸入牛肉の影響を受けている市場状況であり、今年度においては素牛の生産費に十分に注意を払いながら市場動向を注視していきたいと思えます。

基幹産業である軽種馬については、昨年の市場販売頭数および販売額が397頭で34億7,500万円で、昨年より54頭、5,839

4月9日、新ひだか町公民館において「第72回しずない農業協同組合通常総会」が開催されました。今年度の総会につきましては、新型コロナウイルスの世界的大流行により、感染拡大防止のため、原則として書面議決をいただき、来賓各位をお招きせず開催致しました。

万円の増となりました。昨年度の北海道市場ではセプテンバーセールが新設され、総売上も一昨年に続き100億円を超える活気に満ち溢れる1年となりました。また昨年は5月26日に東京競馬場で開催された令和最初の「第86回日本ダービー」を(有)飛野牧場生産のロジャーパローズ号がコースレコードを更新して優勝し、(有)コスモヴェーフーム生産、ウインブライト号が香港でのG1を2勝するなど、静内産馬が大きなレースで活躍する1年となりました。改めて、生産牧場の皆様にお祝い申し上げ、引き続き競走馬生産振興事業を中心に生産基盤の強化に協力していきたいと思っております。

昨年の軽種馬以外の農畜産物販売高は23億1,400万円、前年から見て3,100万円ほど減少しております。このことは先に述べたように生産量に比べて価格の低下が原因と思われ、今後当JAの農業の振興は新農業振興5ヶ年計画をもとに目標数値に達するように戦略作目のミニトマト、万馬券、黒毛和牛を中心に新たな市場開拓や就労、就農への新たな展開、また、生産活動の基盤づくりのため、関係機関に積極的な協力要請など組織的な取り組みに力を入れていきたいと思っております。

令和元年度の財務の決算は、各事業ともにおおよそ計画通りに推移しており、当期の剰余金も見込んでまいりましたが、令和2年度より専門農協となるため、できる限り今年度内で費用計上できるものを処理させていただきました。そのことを組合員の皆様にはご理解いただきたく思います。

JA運営に向けた取り組みは1月12日の信用事業の譲渡より、今後は農協の基本となる生産・販売・購買が基本となつての組織運営をしていかなければなりません。昨年度にも説明させて頂き、具体的な金額は示しませんでしたが、令和2年度からは営農指導費や産業奨励事業に關しまして、平成13年度まで頂いておりました賦課金基準も現状に合わせた基準とさせて頂きました。また、販売手数料に關しても、戦略作目に対する担い手、新規就農に対する育成支援、選果場や市場対応整備、所得向上に対する費用などに充てていくと共に合併協議時に提示した基準、あるいは管内平均基準を見ながら再度の基準を設定しました。何卒、今後のJA事業に關わることなのでご理解を戴きたいと思っております。

最後になりますが、本総会には8つの議案を上程しております。何卒、

ご理解の上ご審議をよろしくお願ひ申し上げます。

再度申し上げますが、信用事業を持たない専門農協として、組合員の皆様方には大変ご心配をおかけしましたがが無事今年度、1月12日より出発することが出来ました。農協はあくまで組合員の生産活動のためにある組織であります。自主、自立と民主的な運営はもちろんのこと、農家の抛り所となるべき組織だと思っております。今後も組合員、役員一体となつて目指すべき農協の姿になつてまいりたいと思っております。」と挨拶がありました。

議長には泊寿幸氏、小池孝義氏が選出され、出席頂いた方より書面議決にて過半数以上の賛成が得られており新型コロナウイルス感染拡大防止も含め、議案の一括上程をとるご提案があり、承認されたため8議案すべて一括上程の上、原案通り可決となりました。

また、信用事業譲渡などについて活発な質問・意見交換がなされ、併せて書面議決をいただく際に、たくさんのご意見を頂戴しましたのでご報告させていただきます。

総会終了後に行われました理事會において、左記の通り、役員が選出されましたので、ご報告致します。

■ 代表理事組合長

片岡 博

■ 理事

西村 和夫
伊藤 佳幸
谷岡 康成
山口 修二
小倉 正信
藤村 英治
大滝 康正

■ 代表 監事

渡辺 隆

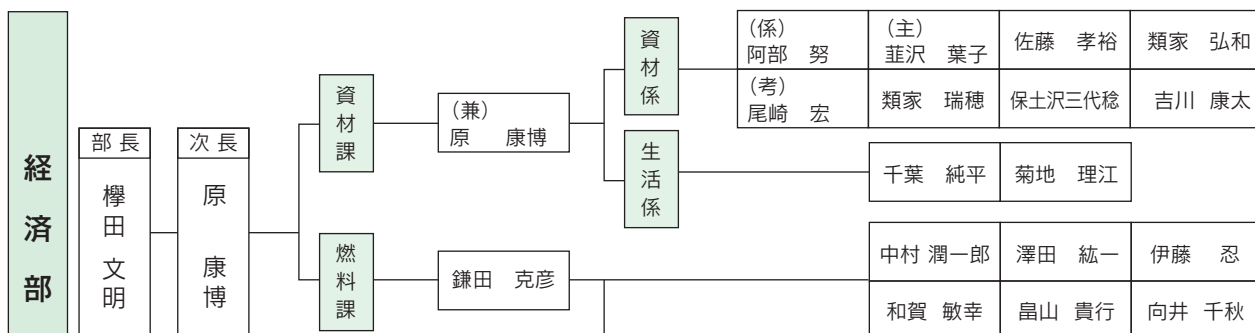
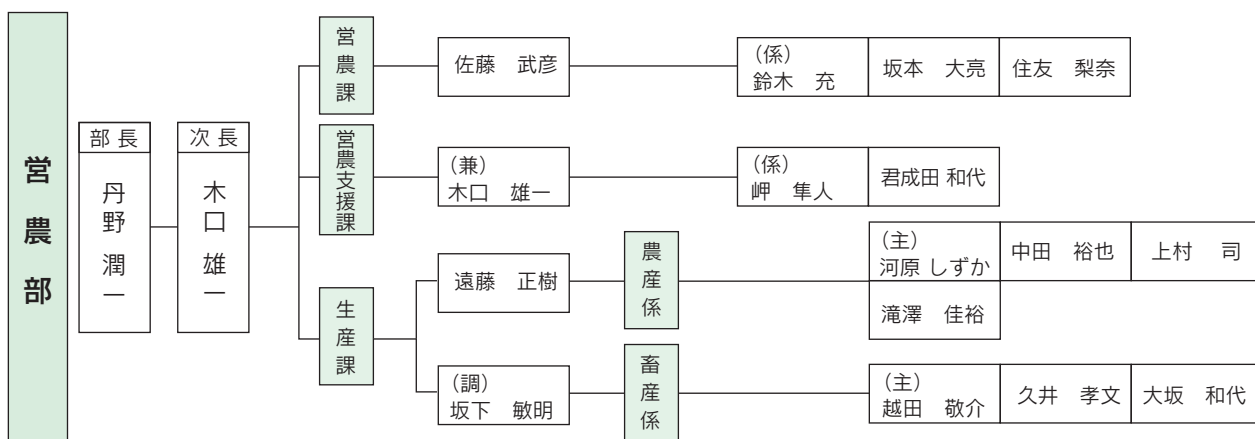
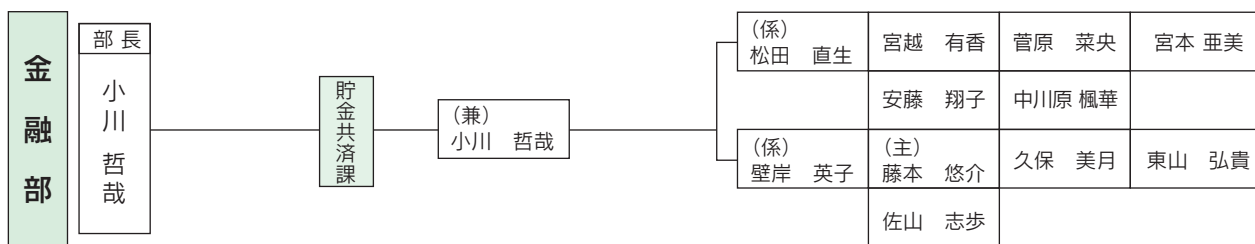
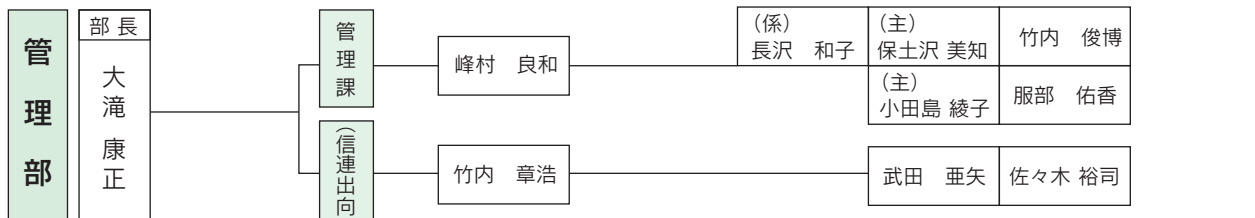
■ 監事

野表 忍

信用事業譲渡に伴う機構改革を行いましたので、ご紹介します。

営農経済部を営農部、経済部へ分割し、経営融資部と営農部を統合、営農支援課を新設しました。
 また、生活課と資材課を統合し、資材課内で生活係と資材係に分けており、4部7課となりました。
 組合員の皆様のニーズを踏まえた事業運営を行ってまいりますのでご利用の程よろしくお願い致します。

部門長	課	課長・調査役・次長	係長・考查役	係
-----	---	-----------	--------	---



令和2年5月1日現在の職員数

	職員数		
	男	女	計
正職	28	12	40
臨職	9	9	18
嘱託	2	0	2
計	39	21	60



静内産馬大活躍

ワイドファラオ号 かしわ記念を制す
(有)フジワラファーム 生産

5月5日に船橋競馬場で開催されました、かしわ記念(ダ1600祓)で(有)フジワラファーム生産のワイドファラオ号(父ヘニーヒューズ、母サイドサファイア)が初めてのG1タイトルを獲得しました。

テレワーク演奏でのファンファーレで始まった当レースですが、ワイドファラオ号は最内枠からの好スタートで先手を切り、逃げに持ち込むと直線では逃げ足を伸ばし、後続を退け見事優勝しました。

(勝ちタイム1分38秒6)

また、中団から最後の直線で追い上げ2位でゴールインした岡野牧場生産のケイティブレイブ号も居り、静内産馬が大活躍したレースとなりました。

新型コロナウイルスの影響によりAiba祭などのイベント開催も不透明ではありますが、静内産馬の応援よろしくお願い致します。



新型コロナウイルスにご注意を!!

新型コロナウイルス感染症により多くの人命が失われていることは皆様もご存じだと思います。軽種馬におきましてはトレーニングセールが中止となっており、大きな影響を及ぼしています。引き続き感染症対策へのご協力をお願い致します。

1. 外出先から戻った後の手洗い、マスクの着用、共用部分の消毒、換気の徹底
2. 可能な限り新型コロナウイルスが感染拡大している地域への往来や密閉、密集、密接を避ける。
3. あらかじめ、万が一、家族、世帯内に感染者及び濃厚接触者が出た場合に、どのようなスケジュールで農作業を行うか、家族、世帯内で十分に協議する。

万が一、感染が分かった場合、定期的に当JAへ出荷を行っている方につきましては、ご一報頂くことをお願い申し上げます。

ミニトマト「太陽の瞳」出荷始まる

ミニトマト「太陽の瞳」の出荷が始まりました。今年は去年より3日早い4月23日からスタートしており、5月18日から共選での道内出荷、5月末から道外へも出荷予定です。今は朝晩が冷え込むので出荷量自体は大きく伸びていませんが、生育は良好で今後の出荷に期待できます。

また、価格につきまして、今現在は巣ごもり需要からスーパー等での売れ行きが良く、新型コロナウイルスの影響は少ないと見込まれます。



黒毛和牛素牛 市場販売成績

(令和2年1月市場~4月市場)

1~3月市場までは順調に推移していたものの、新型コロナウイルスの影響により外食需要が激減、枝肉相場の大暴落が起こっており、素牛相場にも波及している状況です。

※取引結果については、安平町・ホクレン南北北海道市場でのもの。(取引価格は税込み)

1月市場 (1月8日開催)

販売頭数 58頭 (去勢30頭 めす28頭)
販売金額 43,380,700円 (去勢 24,112,000円 めす 19,268,700円)
平均価格 747,943円 (去勢 803,733円 めす 688,168円)

2月市場 (2月6日開催)

販売頭数 55頭 (去勢44頭 めす29頭)
販売金額 39,053,000円 (去勢 23,743,500円 めす 15,309,800円)
平均価格 710,060円 (去勢 791,450円 めす 612,392円)

3月市場 (3月4日開催)

販売頭数 62頭 (去勢35頭 めす27頭)
販売金額 45,886,500円 (去勢 27,597,900円 めす 18,288,600円)
平均価格 740,105円 (去勢 788,511円 めす 677,356円)

4月市場 (4月1日開催)

販売頭数 75頭 (去勢42頭 めす33頭)
販売金額 49,817,900円 (去勢 30,206,000円 めす 19,611,900円)
平均価格 664,239円 (去勢 719,190円 めす 594,300円)

より良い素牛づくりを目指して

新型コロナウイルスが素牛相場にも影響を与え始めていますが、過去のBSEやリーマンショックなどの安値を振り返ってみると長い事例でも6ヶ月程度で高値に転じているという話をされている専門家の方もいますが、先行き不透明な状況下にあります。

高橋義浩さんが飼養している、たかふくしき2号については今年の1月末時点で全道で2番目にサシの入りやすい子牛を生産できる繁殖雌牛となっており、高齢となってきてはいますが能力は健在です。高橋さんは本牛の娘3頭、孫2頭を繁殖として飼養しており、優良母系の形成に繋がっています。

また当地区では全道においてサシの入りやすい子牛を生産できる繁殖雌牛の上位300位の中に9頭もの繁殖雌牛が入っており、高値で売れることが間違いない雌牛たちを繁殖に回してきた成果が出てきているものと思われます。

今後ともより良い肥育素牛生産を目指して研鑽することで、新型コロナウイルスに負けない生産を維持できる結果に繋がるため、ご理解と応援をお願い致します。

道外からも
優良雌牛を導入
してきています。



理 事 会 報 告

2月理事会 (26日)

1. 令和1年度事業報告について
2. 令和2年度事業計画(案)について
3. 令和1年度経営定期点検実施報告および令和2年度経営定期点検実施計画書について
4. 令和2年度余裕金の預入先について
5. リース債権・割賦未収金保全方針(案)について
6. 自立経営農家安定対策推進協議会継続(案)について
7. 令和2年度 信用事業譲渡後の正組合員に係る供与表(案)について
8. 購買 サイト決済取扱品目(案)について
9. 令和2年度職員の定員及び職員給与の改正(案)について

3月理事会 (24日)

1. 令和1年度決算監査の実施結果について
2. 道の検査指摘事項に対する回答について
3. 令和元年度 地域づくり総合交付金事業に係る施設機械リースについて
4. スタンド祝祭日営業の廃止とスタンド営業時間の変更(案)について
5. 規定類の変更(案)について
6. 令和2年度役員報酬について
7. 第72回通常総会議案(決算関係書類)について
8. 第72回通常総会招集通知について

4月理事会 (24日)

1. 使用人の退職事由の除外について
2. 非常勤理事(みなし常勤理事)の使用人兼務の決定について
3. 規定類の変更(案)について
4. 専門委員会の構成並びに委員の互選について
5. 業務執行の代行者順序について
6. 理事報酬の支給方法及び支給内容について
7. 行政庁に対する業務報告書の提出について

新入職員紹介

この度、当JAに新たに新入職員が入組致しましたので、ご紹介させていただきます。

氏名 滝澤 佳裕

抱負 選果場でパートとして働いてきた経験を活かして精一杯仕事に励んでいきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。



お疲れさまでした

退職職員

営農経済部燃料課 3月31日付
一ノ瀬 竣太 (勤続年数 7年)

営農経済部生産課 4月30日付
上村 司 (勤続年数 39年1ヶ月)

持続化給付金のお知らせ

「**持続化給付金**」は、**新型コロナウイルス感染症拡大**により、
特に**大きな影響**を受ける事業者に対して、
事業の継続を下支えするために**支給**するものです。

個人向け

農業者の皆さんも対象です！

ポイント

～最大100万円が給付されます～



① 税務申告をした農業者が対象になります。昨年の事業収入額や所得に関する要件はありません。※ただし、昨年の事業収入について税務申告をしていることが必要です。

- ✓ 2019年の、**確定申告(所得税)**又は**住民税の申告のいずれか**を行っていただければ、申請が可能です。
- ✓ 昨年の事業収入を基に支払われますので、**昨年赤字申告の方も対象**です。

② **新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、今年のいずれかの月の事業収入が、①で申告した年間事業収入を12で割った額(平均月収)の50%以下であれば対象になります。**

- ✓ 2020年1～12月のいずれかの**ひと月の事業収入**が、2019年の**平均月収(※)の50%以下であれば**、次の計算方法を用いて給付額を計算します。

※2019年の平均月収は、申告書に記載されている年間事業収入を12で割った額。

給付額の計算方法(上限：100万円)

$$\text{給付額} = 2019\text{年の年間事業収入} - (\text{申請対象とする月の収入} \times 12\text{か月})$$

③ **パソコン・スマホで申請可能です。対面での申請窓口も設置します。**

- ✓ 対面での**申請支援窓口も全国で設置予定**です。
- ✓ 影響の大きい地域では、**農協**も申請支援を行う予定です。

法人向け

農林漁業を営む法人も対象です！

ポイント

～最大200万円が給付されます～



① **会社だけでなく、農事組合法人等の会社以外の法人も対象です。**

(※農協・森林組合・漁協も対象になります。)

- ✓ 前事業年度の事業収入を基に支払われますので、**前事業年度が赤字申告でも対象**です。

② **新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、今年のいずれかの月の事業収入が前年同月比50%以上減少した場合に対象になります。**

- ✓ 2020年1～12月のいずれかの**ひと月の事業収入**が、2019年の**同月比で50%以下であれば**、以下の計算方法を用いて給付額を計算します。

給付額の計算方法(上限：200万円)

$$\text{給付額} = \text{前事業年度の年間事業収入} - (\text{申請対象とする月の収入} \times 12\text{か月})$$

- ✓ **月当たりの事業収入の変動が大きい法人**は、原則に代えて、特例の計算方法(**季節性収入特例**)を**選択可能**です。

③ **パソコン・スマホで申請可能です。対面での申請窓口も設置します。**

- ✓ 対面での**申請支援窓口も全国で設置予定**です。
- ✓ 影響の大きい地域では、**農協**や**漁協**も申請支援を行う予定です。

※一度給付を受けた方は、再度給付申請することができません。
※詳細は、申請要領等をご確認ください。

「**持続化給付金**」を装った
詐欺にご注意下さい